

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

中央通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」と歩いてきました。永代通りで日本橋交差点を通過した際、都の大動脈の日本橋を通過する「中央通り」を歩いていないことに気づきました。

今回は「中央通り」を歩きます。写真上右は中央通り起点の道路名標識（国道15号線）です。中央通りは港区新橋一丁目の新橋交差点と台東区上野六丁目を結ぶ、延長約5kmの道です。都心の商業地域や繁華街を通る東京のメインストリートです。

今回は起点の新橋一丁目交差点から日本橋まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

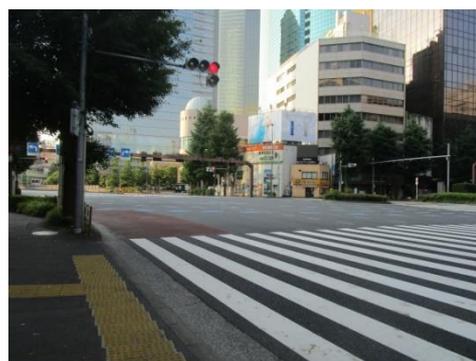
バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[新橋交差点]

港区新橋一丁目

最寄駅

JR 新橋駅



新橋交差点（写真上右）が中央通り（国道 15 号線）の起点で左へ行きます。右は第一京浜（国道 15 号線）の起点で品川方面へ行きます。昭和通り（都道 316 号線）は直進して千住・上野方面に行きます。

海外の高級ブランドの旗艦店や専門店、百貨店などが並び、裏通りには高級クラブなどがある銀座通りを歩きます。江戸代に銀貨幣の鑄造所があったのが銀座の名の由来です。早朝の銀座各交差点をご覧ください。

[銀座八丁目交差点]

左は御門通り。



[銀座七丁目交差点]

花椿通りと交差、左に資生堂。



[銀座六丁目交差点]

交詢社通りと交差。左に交詢社ビル。



[銀座五丁目交差点]

みゆき通りと交差。



[銀座四丁目交差点]

最寄駅 東京メトロ銀座線 銀座駅

晴海通り（都道 304 号線）と交差します。左へ行くと数寄屋橋・日比谷方面、



右へ行くと歌舞伎座・築地方面です。
写真左は銀座四丁目交差点の建物です。三越銀座店（写真左の建物）の変わりように驚きました。銀座四丁目のランドマークはやはり和光（写真下左）の時計塔です。写真下右は交差点右角のニッサン ショールームです。



[銀座三丁目交差点]

角が松屋銀座店、右は松屋通り。



[銀座二丁目交差点]

マロニエ通りと交差。



1624年（寛永元年）2月元祖猿若 中村勘三郎がこの地に猿若中村座の櫓を上げ、その後は市村座、森田座、山村座と続き、江戸歌舞伎の発祥の地となりました。



【京橋交差点】 中央区京橋三丁目

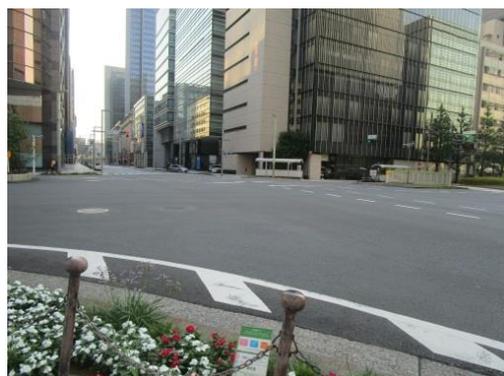
最寄駅 東京メトロ銀座線 京橋駅



京橋交差点（写真左）で鍛冶橋通りと交差します。左へ行くと鍛冶橋方面、右へ行くと八丁堀方面です

【日本橋三丁目交差点】 中央区日本橋三丁目

最寄駅 JR 東京駅



日本橋三丁目交差点（写真上左）で左は東京駅八重洲中央口です。交差点の中央の分離帯に平和の塔のモニュメント（写真上右）があります。



中間部にヤン・ヨーステンの記念碑（写真左）がありました。

オランダ人のヤン・ヨーステンは1600年（慶長5年）豊後（今の大分県）に漂着、航海長のウィルアム・アダムス（後の三浦按針）と共に徳川家康の側近となり外交顧問や通訳として活躍しました。拝領した屋敷があった所は八重洲という地名になりました。

碑は日蘭修好380年を記念して1989年（平成元年）設置されました。



中央通りを進むと右側に見えてくる高島屋日本橋店（写真左）です。三越銀座店と異なり、従来の建物を残し、隣に新たなビルを増築しています。やはり見慣れた建物を見て、ほっとした気持ちになりました。

〔日本橋交差点〕

中央区日本橋二丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 日本橋駅



日本橋交差点（写真左）で永代通り（国道1号線）と交差します、左へ行くとJR線をくぐり丸の内方面、右へ行くと茅場町・永代橋方面です。

〔日本橋〕 中央区日本橋一丁目 最寄駅 東京メトロ東西線 日本橋駅

日本橋（写真下左）の手前左に日本橋の説明板（写真下右）がありました。



日本橋の創架は徳川家康が幕府を開いた1603年（慶長8年）と伝えられています。翌年日本橋が幕府直轄の主要な五街道（東海道・中山道・奥州道中・日光道中・甲州道中）の起点と定められました。江戸市中の中心に位置した日本橋は、橋のたもとの日本橋川沿いに活気ある魚市場が立ち並び、周辺に諸問屋が軒を連ねるなど、江戸で最も賑わった場所でした。現在の日本橋は1911年（明治44年）の架橋されたルネッサンス様式の石造り2連アーチ橋で、都内では数少ない明治期の石造路橋です。橋名の揮毫は第15代将軍徳川慶喜によるものです。橋の中央には当時の内閣総理大臣 佐藤栄作の筆の日本国道路元標のプレートが埋め込まれています。写真下左及び右です。



日本橋を渡ると、魚河岸や日本国道路元標の説明板がありますが、次章にて紹介します。今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里 (約 2400 km) の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川 (現在の江東区深川) を出発、2022 年 9 月 29 日平泉を訪問して一関 (江戸深川から 726 km) に戻りました。これから岩出山へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝